

# 文京千駄木の郷 施設長だより(令和8年5月号)

## ～日常の暮らしを大切に～

### ■ご挨拶

新緑が心地よい季節となりました。

ご家族の皆様におかれましては、日頃より文京千駄木の郷の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

新体制となり1か月が経過いたしました。

ご利用者様が安心して日々を過ごせるよう、職員一同、日々の暮らしを大切にしながら支援を行っております。

今回は、施設で大切にしているケア理念「ケアはび」についてご紹介します。

### ■「ケアはび」とは？

文京千駄木の郷では、「ケアはび」という考え方を大切にしています。

「ケアはび」には、

“支え合い、幸せを育み、つなげていく”

という想いが込められています。

介護は、単にお手伝いをするだけではありません。

ご利用者様・ご家族様・職員・地域の皆様が、お互いに支え合いながら、日々の小さな喜びや笑顔を大切にし、その幸せをつないでいくことを目指しています。

「幸せは特別な場所にあるわけではなく、日々のケアの中にある」——

それが私たちの考える“ケアはび”です。

また、施設でのご様子や日々の取り組みについては、「ケアはび」を通じて写真やコメントで発信し、ご家族様にも安心していただけるよう取り組んで参ります。

離れていても、ご利用者様の日常や笑顔を身近に感じていただける“つながりの場”として、今後も温かな情報発信を続けてまいります。



## ■ 取り組みのご紹介

～ICT を活用した安心づくり～

文京千駄木の郷では、ICT システム「AAMS (アームス)」を活用し、ご利用者様の安心・安全につながる取り組みを進めています。

AAMS を活用することで、職員間での情報共有がよりスムーズになり、日々の体調変化や生活状況を迅速に把握できる環境づくりを行っています。

例えば、

- ・睡眠状況
- ・起き上がりや離床の動き
- ・夜間の見守り状況

などを確認することで、小さな変化にも早く気づき、早期対応につなげています。

また、職員が何度もお部屋へ訪室する負担が軽減されることで、ご利用者様の睡眠や生活リズムを妨げにくくなるというメリットもあります。

ICT や見守り機器は、単に「機械を導入する」ことが目的ではありません。

私たちは、“人だからできる関わり”をより大切にするために ICT を活用する“ことを大切にしています。これからも、ご利用者様が安心して穏やかに過ごせる環境づくりに努めてまいります。

見守り介護ロボット

## aams / アームス

心拍、呼吸、体動、離着床、睡眠の状態などを離れた場所から見守ることができ、マット型の見守り支援介護ロボットです。訪室の間もaamsが24時間ご利用者の様子を見守ることで、見守りのサポートを行います。



📌 このような悩みを解決します

- 夜間の見回り時、訪室の間もご利用者の状態急変が不安
- センサーを導入したが誤報が多い、壊れやすい



## ■新しい仲間が加わりました

4月より、文京千駄木の郷に新卒職員が入職いたしました。

慣れない環境の中ではありますが、先輩職員とともに日々学びながら、ご利用者様との関わりを大切にしています。

ご利用者様から温かいお言葉をいただく場面も多く、職員にとって大きな励みとなっています。当施設では、経験だけではなく、「相手を思いやる気持ち」を大切にしながら人材育成を行っています。これからも職員一同、共に学び、成長しながら、安心できる施設づくりに努めてまいります。



こちらは研修発表会でのひとコマです。

新卒職員が緊張した表情で辞令を受け取る姿がとても印象的でした。

決意表明では「ご利用者様やご家族、職員から“信頼”される職員になりたい」という言葉がありました。その真っ直ぐな思いに、私自身もとても胸を打たれました。

介護の仕事は、技術だけでなく人と人との信頼関係の上に成り立つ仕事です。

これから多くの経験を重ねながら、ご利用者様との関わりを通して成長していく姿を、施設全体で温かく支えていきたいと思えます。

文京千駄木の郷では、「共に学び、共に育つ“共育ち”」を大切にしながら、人材育成に取り組んでいます。これからも、ご利用者様・ご家族様に安心していただける施設づくりを目指してまいります。



## ■施設長より

新年度が始まり、あっという間に1か月が経ちました。

館内では少しずつ新しい雰囲気にも慣れ、ご利用者様の笑顔や穏やかな日常の姿に、私たち職員も日々励まされています。

4月には新卒職員も入職し、緊張しながらも一生懸命にご利用者様と関わる姿がとても印象的でした。辞令を受け取る姿や決意表明を聞きながら、まるで我が子の成長を見守るような気持ちになり、「信頼」という言葉を真っ直ぐに伝えてくれた姿に、私自身も初心を思い出しました。

また、文京千駄木の郷では「ケアはぴ」を活用し、ご利用者様の日々のご様子や施設での取り組みを、これまで以上に身近に感じていただけるよう取り組みを進めています。

日々の暮らしの中では、ご利用者様が洗濯物たたみを手伝ってくださったり、職員へ温かい声を掛けてくださったりと、文京千駄木の郷らしい優しい時間が流れています。

これからも、ご利用者様・ご家族様にとって「安心できる場所」であり続けられるよう、職員一同、温かい施設づくりを進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



令和8年5月  
文京千駄木の郷  
施設長 石川 正美